◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	幼稚園運営管理	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	幼稚園児及び保護者
基本事業コード	411-01		目的（どうしたいのか）	人間性や社会性の基礎を培い、健やかな成長を育む。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	幼稚園施設改修事業	事務事業コード	411-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立幼稚園12園		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	耐震改修及び施設修繕を行い、安全な保育環境を確保する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市立幼稚園12園の14棟のうち、耐震基準を満たしていない3棟の改修及び老朽化している園舎の修繕を行う。		

法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当	R2	こども課	R3	こども課

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	4,936	3,725	実施
	(4,936)	(3,725)	

2

事務事業名	幼稚園運営事務事業	事務事業コード	411-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	利用を希望する幼稚園児や保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安全で快適な幼稚園生活を提供し、楽しいことがいっぱいの幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	カリキュラムに応じて幼稚園備品や消耗品の購入の他、施設営繕及び各種施設の保守点検や施設維持管理を継続して実施する。		

法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当	R2	こども課	R3	こども課

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	292,548	475,024	実施
	(291,492)	(475,024)	

3

事務事業名	幼稚園まつり開催事業	事務事業コード	411-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	ー 達成・終了	継続・新規	継続
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立幼稚園の園児及び保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	豊かな心を育むとともに幼稚園教育への理解を深める。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市立幼稚園14園の全園児が羽曳野コロセアムのメインアリーナに集い、発表会と交流を行う。日頃の各園での活動を大きな場で発することにより、子どもの精神的な成長につなげる。		

法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	R2	こども課	R3	こども課

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	1,264	542	－
	(1,264)	(542)	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	保育園運営管理	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保育園児及び保護者
基本事業コード	411-02		目的（どうしたいのか）	園児の健やかな成長を育むとともに、仕事と子育てを両立できる環境を確保する
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち		保育所待機児童数	人	0	0	0
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	公立保育所運営事務事業	事務事業コード	411-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安全で快適な保育を提供し、楽しいことがいっぱいの幼児期を過ごすことができる環境づくりを推進する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	公立保育所5園を適正に運営し、保育を実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 795,099（795,099）	R2年度（当初）予算額 903,159（903,159）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	公立保育所施設整備事業	事務事業コード	411-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内公立保育園		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安全な保育環境を確保する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	老朽化している園舎の修繕や、待機児童の解消のための施設改修等を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 8,931（8,931）	R2年度（当初）予算額 6,099（6,099）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	民間保育所運営事務事業	事務事業コード	411-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	保護者の労働や疾病等に伴い保育を必要とする児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	必要な保育を安全かつ安定的に提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	民間保育所等において保育需要に対応する他、利用する児童の処遇改善等を目的とした単独補助事業を実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 B
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,605,633（603,270）	R2年度（当初）予算額 1,750,342（530,830）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	民間保育所施設整備事業	事務事業コード	411-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内民間保育園の施設整備		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	年々増加している保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 164,278（18,928）	R2年度（当初）予算額 59,149（7,238）	R3年度実施の方向性 －

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	就学前教育・保育の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	就学前児童及び保護者
基本事業コード	411-03		目的（どうしたいのか）	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点 現状値（総計）	R1年度 実績	R2年度 目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	幼保一元化推進事業	事務事業コード	411-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	就学前児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	多様化する子育て支援ニーズに対応するため、就学前児童の教育・保育を一体的・総合的に推進するため、幼稚園・保育所・認定こども園が連携してお互いの情報・識見の共有と相互理解を深める。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	公立の幼保連携型認定こども園において、今後共通としていくカリキュラムの作成を通して幼稚園教諭・保育士の交流を図り、研修機会を充実させ、職員の質の向上に努める。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,462（5,462）	R2年度（当初）予算額 5,066（5,066）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	こども未来館たかわし整備事業	事務事業コード	411-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	こども未来館たかわし		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	幼保連携型認定こども園「こども未来館たかわし」を整備する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 0（ ）	R2年度（当初）予算額 0（ ）	R3年度実施の方向性

3

事務事業名	こども未来館たかわし設立準備事務事業	事務事業コード	411-03-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	こども未来館たかわし		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	こども未来館たかわし設立にあたって、施設整備にむけた準備を行う。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	施設整備にあたっての調整・予算作成および運用に関しての資料作成等を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性 / 有効性 / 効率性
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性

4

事務事業名	民間こども園施設整備支援事業	事務事業コード	411-03-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内民間幼保連携認定こども園の施設整備		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	年々増加している教育・保育需要に応えるため、社会福祉法人等が設置する施設の定員数を増やし受入増を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	社会福祉法人等が設置する施設に係る整備事業に対し、市が行う補助事業を実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 28,907（4,249）	R2年度（当初）予算額 254,639（36,083）	R3年度実施の方向性 －

5

事務事業名	公立認定こども園運営事務事業	事務事業コード	411-03-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	3歳から5歳までの子どもとその保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	就学前の子どもたちの成長発達に応じた教育・保育を一体的に行い、心と体、意欲や規範意識などを培い、たくましく生きる力の基礎を育成する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	1号認定児（幼稚園）と2号認定児（保育園）が共に学ぶ環境の中で、認定こども園教育・保育要領に沿った総合的な指導を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 78,100（78,025）	R2年度（当初）予算額 86,761（86,682）	R3年度実施の方向性 実施

6

事務事業名	公立認定こども園管理事務事業	事務事業コード	411-03-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	公立認定こども園（こども未来館たかわし）		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	多様な子育てニーズに対応する、園の円滑な運営に資するため。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	施設の維持に必要となる様々な日常管理を実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 6,082（6,082）	R2年度（当初）予算額 5,563（5,563）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	就学前教育・保育の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	就学前児童及び保護者
基本事業コード	411-03		目的（どうしたいのか）	多様なニーズに対応する、新たな教育・保育の一体的なサービスの推進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

7

事務事業名	(仮称)西部こども未来館整備事業	事務事業コード	411-03-07
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	ー　達成・終了　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)　担当 R2 (仮称)西部こども園設立準備室　R3 (仮称)西部こども園設立準備室
事務事業の概要 対象(誰を・何を)	(仮称)西部こども未来館	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業
事務事業の概要 目的(どうしたいのか)	質の高い総合的な就学前教育・保育を提供できる環境として、２つ目の市立認定こども園の設立をめざす。	総合評価・今後の方向性	現状維持　各視点からの評価　妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段(事業内容)	設計に関する業務委託、関係者への説明や連絡調整等。	総事業費(うち市負担額) 単位:千円	R1年度決算額 483,040 (483,040)　R2年度(当初)予算額 351,096 (351,096)　R3年度実施の方向性 完了見込

8

事務事業名	(仮称)西部こども未来館設立準備事務事業	事務事業コード	411-03-08
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	ー　達成・終了　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)　担当 R2 (仮称)西部こども園設立準備室　R3 (仮称)西部こども園設立準備室
事務事業の概要 対象(誰を・何を)	(仮称)西部こども未来館	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業
事務事業の概要 目的(どうしたいのか)	質の高い就学前教育・ 保育及び子育て支援を総合的に提供する。	総合評価・今後の方向性	拡充・重点化　各視点からの評価　妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段(事業内容)	運営の方針やカリキュラム等、園の運用方法について検討しながら、開設に向けた準備・調整を行う。	総事業費(うち市負担額) 単位:千円	R1年度決算額 5,312 (5,312)　R2年度(当初)予算額 0 (0)　R3年度実施の方向性 完了見込

9

事務事業名	はぴきのE-Kids!事業	事務事業コード	411-03-09
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A　順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務(任意のもの)　担当 R2 特命プロジェクトチーム　R3 こども課
事務事業の概要 対象(誰を・何を)	市立幼稚園および市立こども園に在園する4歳児及び5歳児	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業
事務事業の概要 目的(どうしたいのか)	幼児期において、英語を楽しみながら体験することで、自然に無理なく英語を学びながら、ネイティブな発音や外国文化に触れられる機会を提供し、英語力やグローバルな視野の基礎づくりに寄与する。	総合評価・今後の方向性	拡充・重点化　各視点からの評価　妥当性 B　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段(事業内容)	園の課内授業として、外国人講師と市職員による英会話の体験教室を実施する。	総事業費(うち市負担額) 単位:千円	R1年度決算額 3,098 (3,098)　R2年度(当初)予算額 2,388 (2,388)　R3年度実施の方向性 実施

10

事務事業名	未就学児の教育保育施設長寿命化計画事業	事務事業コード	411-03-10
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	ー　達成・終了　継続・新規：新規	法定・自治	自治事務(任意のもの)　担当 R2 こども課　R3 こども課
事務事業の概要 対象(誰を・何を)	本市の市立子育て支援施設(幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター)	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業
事務事業の概要 目的(どうしたいのか)	老朽化している本市の子育て支援施設について、年少人口の減少動向を踏まえ、適正な規模配置を維持し、良好な教育保育環境を将来にわたって持続的に確保する必要がある。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価　妥当性　有効性　効率性
事務事業の概要 手段(事業内容)	子育て支援施設長寿命化計画を策定する。	総事業費(うち市負担額) 単位:千円	R1年度決算額　R2年度(当初)予算額　R3年度実施の方向性 －

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	子どもの権利擁護の推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童
基本事業コード	411-04		目的（どうしたいのか）	子どもの基本的人権を補償する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点 現状値（総計）	R1年度 実績	R2年度 目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
		(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	家庭児童相談事業	事務事業コード	411-04-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	18歳未満の児童とその家族、及び妊婦		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	安心して産み育てられる育児への援助		
事務事業の概要 手段（事業内容）	子育てに関する相談等、短期の施設での児童の預かりなどを行う等。		
R2年度 事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 7,830（7,830）	R2年度（当初）予算額 5,339（5,339）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	児童虐待防止・対策事業	事務事業コード	411-04-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童及び児童に関わる成人		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童に対する虐待を防止する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	虐待防止推進活動として、啓発活動、相談業務、虐待対応、養育支援等を行う。		
R2年度 事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,850（3,019）	R2年度（当初）予算額 5,052（5,052）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	すべての子どもの育ちへの支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童
基本事業コード	411-05		目的（どうしたいのか）	心身ともに健やかに育つ環境づくり・仕組みづくりを図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	1	すべての子どもの育ちへの支援						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	ダルビッシュ有子ども福祉基金管理運用事務事業	事務事業コード	411-05-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	子ども		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	「ダルビッシュ有こども福祉基金」を活用して、子どもたちの心身の健やかな成長に寄与する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	①ダルビッシュ有選手からの寄附金（公式戦で1勝するごとに10万円寄附）を基金に積立て、子どもの福祉に役立つ事業へ活用【こんにちは赤ちゃん事業として子育て安心ファイルの配布、中央図書館にダルビッシュ有文庫を開設し、スポーツ関連の書籍を配架、市内児童擁護福祉施設の子どもたちをぶどう狩りに招待など】 ②広く一般の方からいただいたふるさと応援寄附金を基金に積立て、子どもの福祉に役立つ事業へ活用【ファミリーサポート事業、地域子育て支援拠点事業、パンダ・きりん教室開催事業など】		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）	R1年度決算額 7,494（759）	R2年度（当初）予算額 3,150（750）	単位：千円
R3年度実施の方向性	実施		

2

事務事業名	こども夢プラン進行管理事務事業	事務事業コード	411-05-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	羽曳野市子ども・子育て支援事業計画、羽曳野市次世代育成支援行動計画、羽曳野市母子保健計画（はびきのこども夢プラン）の着実な推進。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	本計画を実行性のあるものとして着実に展開していくため、年度ごとに関係各課の施策や事業の実施状況を把握するとともに、庁内連携強化に努める。また、羽曳野市こども夢プラン推進委員会に施策や事業の進捗状況を報告したうえで、市のウェブサイト等を通じて市民に公表する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）	R1年度決算額 2,825（2,825）	R2年度（当初）予算額 2,543（2,543）	単位：千円
R3年度実施の方向性	実施		

3

事務事業名	第2期こども夢プラン策定事務事業	事務事業コード	411-05-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	子ども・子育て支援法第61条に基づき、羽曳野市子ども・子育て支援事業計画を策定。また、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく羽曳野市次世代育成支援行動計画・羽曳野市母子保健計画の策定		
事務事業の概要 手段（事業内容）	これからの教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の充実に向けた計画であり、前回計画の進捗状況等を踏まえ、子どもの健やかな育ちと子育てを社会全体で支え合う環境づくりを総合的に推進する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）	R1年度決算額 6,556（6,556）	R2年度（当初）予算額 0（0）	単位：千円
R3年度実施の方向性			

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	子育て家庭への経済的支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保護者
基本事業コード	412-01		目的（どうしたいのか）	育児負担の軽減を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	2	子育て家庭への支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	児童手当給付事務事業	事務事業コード	412-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	法定受託事務	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	中学校修了前の児童を養育している人		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	子ども一人につき月額0歳～3歳まで一律15,000円、3歳～小学校修了前（第1子、第2子）10,000円、3歳～小学校修了前（第3子以降）15,000円、中学生（※1）一律10,000円を養育者に支給。ただし、所得制限限度額以上の場合は、法律の附則に基づく特例給付として児童1人あたり一律5,000円の支給となる。（※1）15歳に達する日以後の最初の3月31日までにあるもの。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,629,903（260,417）	R2年度（当初）予算額 1,628,526（258,268）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	児童扶養手当給付事務事業	事務事業コード	412-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	法定受託事務	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	18歳に達する日以後の最初の3月31日（児童に政令で定める程度の障がいがある場合は、20歳未満）までの児童を養育するひとり親家庭の母・父等で、所得が一定未満の人。		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	ひとり親家庭等の家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の健全な育成を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	手当の月額は、請求者等の所得によって、全部支給・一部支給が決まる。支給月は、2ヶ月に1回奇数月。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 770,145（517,397）	R2年度（当初）予算額 628,543（421,713）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	特別児童扶養手当給付事務事業	事務事業コード	412-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	法定受託事務	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	20歳未満の政令で規定する障害の状態にある児童を、監護または養育する一定所得基準内の人		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童の福祉の増進を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	各種提出書類の受付、通知書等の送付、所得状況確認等、円滑な支給のための事務を行っています。（受給資格及び障がいの程度については、大阪府が審査します。）		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,770（5,166）	R2年度（当初）予算額 5,749（5,165）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	助産施設入所事務事業	事務事業コード	412-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	経済的に困窮している妊婦		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	経済的に困窮している妊婦が安心して出産できるようにする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	出産費用の補助（分娩介助料、入院費用等含み概ね一件あたり30万円～100万円）		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 2,728（1,272）	R2年度（当初）予算額 7,375（2,125）	R3年度実施の方向性 実施

5

事務事業名	私立幼稚園就園支援事業	事務事業コード	412-01-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	私立幼稚園又は認定こども園に通園する子どもの保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	充実した幼稚園教育を提供できるようにする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	私立幼稚園又は認定こども園に通園する子どもに係る給付費または保育料の一部を保護者（施設が法定代理受領）に給付することにより、円滑な施設運営を図る。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 115,929（40,155）	R2年度（当初）予算額 0（0）	R3年度実施の方向性

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	仕事と子育てを両立できる環境の整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保護者
基本事業コード	412-02		目的（どうしたいのか）	多様化するニーズにあわせた保育サービスの充実を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	2	子育て家庭への支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	ひとり親家庭自立支援事業	事務事業コード	412-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	母子家庭の母･父子家庭の父で児童扶養手当受給者等		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	ひとり親家庭の自立の促進を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	母子･父子･寡婦福祉資金の貸し付け（大阪府へ進達）や就労に関する相談業務等を行い、就業支援事業として高等職業訓練促進給付金事業等を実施している。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 14,418（2,934）	R2年度（当初）予算額 20,754（6,387）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	一時預かり事業	事務事業コード	412-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	突発的な要因の他、育児等に伴う心理的･肉体的負担等を抱える保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	保護者の継続的･短時間就労などや、専業主婦家庭などの育児疲れ、急病や入院などにともなう心理的･肉体的負担を解消するために実施する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市内の民間保育所3園、公立こども園1園、公立幼稚園1園の計5園で本事業を実施し、保護者の負担軽減に努める。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 13,370（2,818）	R2年度（当初）予算額 16,634（4,066）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	延長保育事業	事務事業コード	412-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	保育を必要とする保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	保護者の就労形態の多様化などにともない保育時間の園長に対するニーズに対応できるよう民間保育施設において、保育認定を受けた時間外に保育が必要となった場合に対応する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	民間保育所に対し、事業実施に必要な費用として、補助金を交付する。（国府負担あり）		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 4,375（1,775）	R2年度（当初）予算額 6,181（2,185）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	病後児保育事業	事務事業コード	412-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	こども課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	病気の回復期等であることから集団保育が困難な児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	病気回復期にある入院治療の必要のない児童が、保護者の就労や傷病、事故などの理由により家庭での養育が一時的に困難になった場合、児童を一時的に保育する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	事業実施団体に運営費補助金を交付する。（国府負担あり）		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 9,861（3,617）	R2年度（当初）予算額 9,978（3,249）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	きめ細やかな保育・子育てサービスの提供	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保護者
基本事業コード	412-03		目的（どうしたいのか）	安心して子育てできる環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	2	子育て家庭への支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	養育支援訪問事業	事務事業コード	412-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	養育が困難な家庭		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童の見守り、親への家事援助による育児スキルの向上、育児ストレス軽減等により児童虐待防止を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	養育が困難な家庭にヘルパーを派遣し、養育を支援する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 4,261（2,925）	R2年度（当初）予算額 3,114（1,538）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	子育て短期支援事業	事務事業コード	412-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	事情がある家庭の児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	夜間放置等の児童虐待を防止する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	児童養護施設にて短期間の児童の一時預かり（1週間を限度とする。）		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 239（233）	R2年度（当初）予算額 1,403（568）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	育児支援家庭訪問事業	事務事業コード	412-03-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	第2子以降を出生した家庭		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	新生児家庭を訪問することにより、安心して育児を行えるようにする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	出生後家庭を保育士・子どもサポーターが訪問することにより、家庭の状況を把握し、新生児育児への適切な援助を行なう。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,159（2,471）	R2年度（当初）予算額 6,776（4,321）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	赤ちゃんの駅設置事業	事務事業コード	412-03-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	外出中の乳幼児及びその保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	おむつ替え又は授乳のできる施設を登録し、広く公表することにより、子育て中の親子が安心して外出できる環境の整備を図り、地域社会全体で子育てを支えるやさしいまちづくりを推進することを目的としている。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	①赤ちゃんの駅事業　基準を満たす施設を赤ちゃんの駅として登録し、無料で場所の提供をしてもらう事業。②移動式赤ちゃんの駅貸出事業 市内イベントにテント、おむつ交換台等を貸し出す事業。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 759（759）	R2年度（当初）予算額 750（750）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	子育てに関する情報の発信	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保護者等
基本事業コード	412-04		目的（どうしたいのか）	制度や各種サービスに係る周知を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点 現状値（総計）	R1年度 実績	R2年度 目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	2	子育て家庭への支援		はびきの子育てネット閲覧回数（累計）	回	66,000	82,829	142,800
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	はびきの子育てネット運用事務事業	事務事業コード	412-04-01
	総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	子育て中の保護者		
	目的（どうしたいのか）	羽曳野市の公式子育て応援サイトとして、子育てに関する情報を発信することで、地域の子育てを支援する。		
	手段（事業内容）	こども課、市立子育て支援センター、健康増進課が、それぞれのページを運用し、子育てに関する情報を提供している。こども課では台風などによる保育園の休園情報など、子育て支援センターは日々の事業の様子などをすばやく提供している。		

法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当	R2	こども課	R3	家庭支援課
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果				二次評価対象事業	

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	B

総事業費（うち市負担額）	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	7,424	5,220	実施
単位：千円	（ 7,424 ）	（ 5,220 ）	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	地域子育て支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	保護者
基本事業コード	413-01		目的（どうしたいのか）	地域で孤立することなく、楽しく子育てできる環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	1	子育て支援						
施策の方向	3	地域ぐるみの子育て支援の充実						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	地域子育て支援拠点事業	事務事業コード	413-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	地域の乳幼児及びその保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行っている。具体的には、子育て講座、サークル支援、年齢別親子教室や親子で楽しめるイベントなどを開催している。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	67,007	67,007	実施
	(40,836)	(40,836)	

2

事務事業名	古市複合館管理事務事業	事務事業コード	413-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	古市複合館（子育て支援センターふるいち、図書館、青少年センター）		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	地域の子育てと青少年活動の拠点とする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市長及び教育委員会が管理する施設とし、別に条例で定める子育て支援センター、図書館及び青少年センターをあわせて管理する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	4,857	4,823	実施
	(4,857)	(4,823)	

3

事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事務事業	事務事業コード	413-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	子育て支援センターふるいち
R3	子育て支援センターふるいち		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	依頼会員・協力会員ともに、市内在住の生後3か月から小学6年生までの子どものいる方		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	子育ての援助をして欲しい人（依頼会員）と子育ての援助をしたい人（協力会員）の相互援助活動により、地域の子育て支援の輪を広げることを目的としている。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	センターは、依頼会員と協力会員との連絡調整等を行う。援助を受けた依頼会員は協力会員に報酬等を支払い、協力会員は援助活動報告書をセンターに提出する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	2,896	3,626	実施
	(1,007)	(1,713)	

4

事務事業名	家庭支援推進保育所事務事業	事務事業コード	413-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	民間保育園		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	家庭環境に支援を要する保育所入所児童及びその家庭に対する支援や、在宅での子育て家庭への支援として、家庭訪問、出前保育、育児相談などを実施。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	家庭訪問・出前育児相談等を行う保育園に対し、補助金を交付する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	16,406	16,406	実施
	(7,925)	(7,925)	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	教育委員会の運営	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	教育委員会
基本事業コード	421-01		目的（どうしたいのか）	教育行政の基本的な方針を決定し、委員会事務の推進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり		学校へ行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	児童85.4 生徒84.7	児童84.1 生徒84.9	児童87.0 生徒87.0
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり		将来の夢や希望を持っていると答えた児童・生徒の割合	%	児童84.1 生徒70.2	児童81.3 生徒69.0	児童87.0 生徒72.5
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	教育委員会運営事務事業	事務事業コード	421-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	教育委員会		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	教育委員会の権限に属する事務を円滑に処理する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	教育に関する議案を審議するため、月1回の定例会や必要な時に臨時会を開催する。新教職員人事や規則の制定など、教育に関する一般方針の決定等を教育長及び4人の教育委員の合議制により行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 9,381（9,381）	R2年度（当初）予算額 8,154（8,154）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	評価委員会関連事務事業	事務事業コード	421-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	教育委員会		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	主要な施策や事務事業の取組状況について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	教育委員会事務局にて、主要な施策や事務事業の点検・評価を行い、評価委員会の意見を聴取した上で、点検・評価の実施報告書を作成し、議会への報告及び市民への公表を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 780（780）	R2年度（当初）予算額 771（771）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	表彰関連事務事業	事務事業コード	421-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、職員及び団体		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	教育委員会が表彰するのが適当であると認める成績、業績または行為のあったものを表彰する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	表彰審査会において審議し、毎年11月3日に表彰する。また、必要に応じて、随時表彰する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 815（815）	R2年度（当初）予算額 918（918）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	教育改革審議会運営事務事業	事務事業コード	421-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	教育改革審議会委員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	子育て及び教育行政の新たな課題等の重要事項について調査審議する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	専門的見地に立ち審議会委員が協議をしたうえ、審議会答申を作成し、今後の市の教育施策に反映させる。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 104（104）	R2年度（当初）予算額 185（185）	R3年度実施の方向性 実施

5

事務事業名	教科書採択関連事務事業	事務事業コード	421-01-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	教育委員、市立小中学校及び義務教育学校教職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	公正な手続きのもと、羽曳野市の子どもたちにとって最も適した教科書を採択し、学習基盤を整える。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	専門的見地に立った十分な調査・研究を調査員が行い、それを踏まえて、市民としての意見も反映したうえ、選定委員会での答申を作成する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,434（1,434）	R2年度（当初）予算額 1,333（1,333）	R3年度実施の方向性 実施

6

事務事業名	教育振興基金管理運用事務事業	事務事業コード	421-01-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	教育振興基金		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	教育の振興を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	寄附金及び利子収入を基金に積み立て、教育の振興に関する事業のために活用する。 【基金活用事業：海外招聘英語指導事業及び教育研究所費】		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,784（76）	R2年度（当初）予算額 2,796（75）	R3年度実施の方向性 実施

7

事務事業名	学校いじめ問題対策審議会運営事務事業	事務事業コード	421-01-07
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校在学児童・生徒		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進すること。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	(1)いじめの防止等のための適切な措置に係る調査及び審議 (2)重大事態に係る事実関係の調査及び審議		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 473（473）	R2年度（当初）予算額 497（497）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	小中学校管理運営	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校
基本事業コード	421-02		目的（どうしたいのか）	安全で快適な教育環境・学習環境を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	小中学校総務管理事務事業	事務事業コード	421-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	小中学校及び義務教育学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	消耗品の購入、校務員の配置など		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 102,970（102,970）	R2年度（当初）予算額 116,828（116,828）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	小中学校物品等管理事務事業	事務事業コード	421-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	小中学校及び義務教育学校の適正かつ円滑な運営管理に努め、児童・生徒及び利用者に快適で安全な学校生活を提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	学校備品の購入		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 55,753（54,812）	R2年度（当初）予算額 64,049（63,549）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	小中学校保健衛生等事務事業	事務事業コード	421-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校在学児童・生徒、教職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童、生徒、教職員の健康保持・増進 学校教育の円滑な実施、保護者の医療費負担軽減		
事務事業の概要 手段（事業内容）	健康診断、各種検診、学校環境検査、災害共済給付等		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 59,736（56,627）	R2年度（当初）予算額 66,671（62,899）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	小中学校図書館支援事業	事務事業コード	421-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	小中学校図書館システム、市立小中学校及び義務教育学校在学児童・生徒		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	知性・人間性を広げるために不可欠な図書館教育を充実させる。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	図書館システムの保守や運営支援、書籍配送事業をすすめることで、子どもたちの読書活動の環境を整える。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 42,343（42,343）	R2年度（当初）予算額 46,297（46,297）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	教育内容の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	421-03		目的（どうしたいのか）	基礎学力、体力の向上と豊かな人間性の育成を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	小学校英語サポート事業	事務事業コード	421-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	継続・新規：終了	法定・自治：自治事務（任意のもの）	担当 R2： R3：
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	実施希望のあった小学校の5、6年生児童	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	市内児童の国際意識および外国語でのコミュニケーション能力の向上を図る。	総合評価・今後の方向性	各視点からの評価：妥当性 / 有効性 / 効率性
手段（事業内容）	英語に堪能な市職員が、2週間に1回程度学校に訪問し、小学校の英語授業のサポートを行う。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 / R2年度（当初）予算額 / R3年度実施の方向性

2

事務事業名	学校ICT環境整備事業	事務事業コード	421-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（義務的なもの） 担当 R2：教育総務課 R3：教育総務課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童及び生徒	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	ICT教育環境の充実を図り、児童及び生徒のICT活用能力を高める。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	国の促進事業に基づきICT教育の環境整備を図る。※ICT（情報コミュニケーション技術）教育とは、情報技術を用いて、学習者に新しいコミュニケーション環境を提供しようとする教育をいう。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：70,741（70,741）/ R2年度（当初）予算額：105,408（105,408）/ R3年度実施の方向性：実施

3

事務事業名	ALTを活用した外国語教育推進事業	事務事業コード	421-03-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの） 担当 R2：学校教育課 R3：学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校　児童・生徒・教職員	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	児童・生徒の言語や発音の向上や、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、国際理解を深める。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	・英語に慣れ親しむ場面での活用・英語の音声指導や英語表現の活用指導 ・外国の文化や行事、生活習慣、歴史等に関する活動	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：14,299（13,052）/ R2年度（当初）予算額：15,445（15,445）/ R3年度実施の方向性：実施

4

事務事業名	人権教育推進事業	事務事業コード	421-03-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（義務的なもの） 担当 R2：学校教育課 R3：学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校教職員、市人権教育研究会	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	各学校における人権に関する校内研修を充実させることで、子どもたちが安心して学校生活を送れる環境（人権が尊重された学校園づくり）をととのえる。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	校内研修への講師招聘にあたり、謝礼の支援をする。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：1,186（1,186）/ R2年度（当初）予算額：1,463（1,463）/ R3年度実施の方向性：実施

5

事務事業名	保幼小中一貫教育推進事業	事務事業コード	421-03-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの） 担当 R2：学校教育課 R3：学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立幼稚園、小・中学校、義務教育学校および保育園	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	幼小中11か年に加え保育園での活動も関連付け、中学校区で「めざす子ども像」を共有し、教科学力・学びの基礎力等を関連付けながら、子ども一人ひとりの「生きる力」を育成することを目的とする。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	全中学校区において、各中学校区の特性を活かした保幼小中一貫教育を推進する。また、横断的なモデルカリキュラムを作成し、校種間の段差等を軽減する。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：5,531（2,957）/ R2年度（当初）予算額：5,911（3,572）/ R3年度実施の方向性：実施

6

事務事業名	姉妹校交流助成事業	事務事業コード	421-03-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規：継続	法定・自治：自治事務（任意のもの） 担当 R2：学校教育課 R3：学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立白鳥小学校　5年生・6年生	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	豊かな人間性を育むとともに、地域に誇りを持つ。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	島根県安来市赤江小学校の児童・教職員・保護者と白鳥伝説を通した交流を行う。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：326（326）/ R2年度（当初）予算額：325（325）/ R3年度実施の方向性：実施

7

事務事業名	小規模校における外国語活動合同開催事業	事務事業コード	421-03-07
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規：終了	法定・自治：自治事務（任意のもの） 担当 R2：学校教育課 R3：学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立駒ヶ谷・古市南・西浦東小学校　5年生・6年生	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
目的（どうしたいのか）	小学校小規模校において、外国語活動を中心とした交流事業を進めることで、小規模校では取組みが難しい外国語を使ったグループなどでのコミュニケーション活動を実施する。その中から、大勢の集団生活の中で社会性を育む。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
手段（事業内容）	年数回交流を実施。ALT等を活用し、外国語（英語）を通じた内容の交流を深める。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額：290（290）/ R2年度（当初）予算額：0（0）/ R3年度実施の方向性：

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	クラブ活動等の活性化推進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	421-04		目的（どうしたいのか）	心身の健全な育成を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	大会出場等助成事業	事務事業コード	421-04-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	生徒及び引率教職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	クラブ活動経費の一部を助成することにより、生徒の健全な心身を育み、クラブ活動を奨励する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	中学生がクラブ活動で、日本中学校体育連盟が主催する全国中学校総合体育大会及び近畿中学校体育連盟が主催する近畿中学校総合体育大会に出場したとき、旅費及び宿泊費を助成する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 469（469）	R2年度（当初）予算額 875（875）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	中学校ブラスバンド助成事業	事務事業コード	421-04-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	中学校及び義務教育学校のブラスバンド部		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	クラブ活動の活性化を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	中学校及び義務教育学校のブラスバンド部用楽器の修繕及び購入（隔年）を行う。また、教育委員会後援で市内6中学校共同発表会を年に一度開催する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 3,065（3,065）	R2年度（当初）予算額 1,232（1,232）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	部活動指導者派遣事業	事務事業コード	421-04-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立中学校及び義務教育学校後期課程在学生徒		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	部活動の充実及び教員の資質向上を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	地域に在住のスポーツ指導者や経験者を派遣し、顧問の教諭等と連携・協力しながら、部活動での技術的な指導をおこなう。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 719（719）	R2年度（当初）予算額 733（733）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	クラブ･部活動助成事業	事務事業コード	421-04-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校　児童･生徒		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童･生徒の心身両面での健全育成をめざす。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	放課後、休日を利用して活動。スポーツや文化活動において、児童･生徒が興味関心を持つことができるクラブを設定し、学年学級の枠を越えて、同じ目標に向かって努力させる。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 7,429（7,429）	R2年度（当初）予算額 7,435（7,435）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	きめ細やかな教育支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	421-05		目的（どうしたいのか）	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	帰国・外国人児童生徒適応支援事業	事務事業コード	421-05-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	日本語指導が必要な児童・生徒及び保護者	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	渡日間もない児童・生徒の、生活するために必要な日本語（サバイバル日本語）の習得支援および、母語保障をする。	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	通訳及び日本語指導	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 6,748（6,748）　R2年度（当初）予算額 12,858（12,858）	R3年度実施の方向性	実施

2

事務事業名	不登校児童生徒適応指導事業	事務事業コード	421-05-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立小中学校及び義務教育学校に在籍する不登校児童・生徒	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	不登校児童・生徒の学校復帰をめざし、小集団活動を通じて、集団への適応力を育成する。	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	①学校と連携した学習支援 ②料理やスポーツ、野外活動などの体験活動 ③本人・保護者との相談活動	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 9,593（9,132）　R2年度（当初）予算額 10,247（10,247）	R3年度実施の方向性	実施

3

事務事業名	教育相談事業	事務事業コード	421-05-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内園児・児童・生徒及び保護者、市立学校教職員	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学校教育活動等における児童及び生徒が有する諸課題に対応するため、専門的な知識を有する者を相談員として設置し、保護者や教職員に対してカウンセリング等を実施する	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	①幼児、児童、生徒の保護者に対し、来室または電話による教育相談に応じる ②教職員に対し、来室または電話による教育相談に応じる	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 2,106（2,106）　R2年度（当初）予算額 2,189（2,189）	R3年度実施の方向性	実施

4

事務事業名	進路選択支援事業	事務事業コード	421-05-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内 児童・生徒・保護者	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	経済的な理由で、進学等を断念することがないように支援する。	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	家庭状況および相談内容に応じて、適切な奨学金の活用や手続きについて案内する。	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 1,603（905）　R2年度（当初）予算額 1,844（1,287）	R3年度実施の方向性	実施

5

事務事業名	肢体不自由児療育支援事業	事務事業コード	421-05-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校に在籍する、障がいのある児童・生徒	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市内在住の肢体不自由児をはじめ、障がいのある児童・生徒に対して、円滑な就学と教育の実施に努め、教育の機会均等を図る。	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	西浦小学校、峰塚中学校をセンター校と位置付け介助員を配置する。週1回、機能訓練士を派遣する。児童・生徒の登下校時のスクールバスを運行する。市内支援学級の交流行事の充実を図る。	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 11,727（10,737）　R2年度（当初）予算額 21,547（20,402）	R3年度実施の方向性	実施

6

事務事業名	特別支援教育推進事業	事務事業コード	421-05-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 学校教育課　R3 学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校に在籍する、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒	R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	当該の児童・生徒に対して適切な教育（支援教育）を行う。	二次評価対象事業	
事務事業の概要 手段（事業内容）	各学校に支援教育支援員を配置する。支援教育支援員は、教育上特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、生活支援、行動支援、学習支援等を行う。	総合評価・今後の方向性	現状維持
各視点からの評価	妥当性 A　有効性 A　効率性 A		
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 6,201（5,997）　R2年度（当初）予算額 10,385（10,385）	R3年度実施の方向性	実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	きめ細やかな教育支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	421-05		目的（どうしたいのか）	さまざまな教育課題に対応可能な支援体制の充実を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

7	事務事業名	ほっとスクール支援員事業	事務事業コード	421-05-07
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B	概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課	R3 学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校　児童・生徒			
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学力向上、支援教育充実、不登校･いじめ等防止等、今日的な教育課題解決の一助とする。			
事務事業の概要 手段（事業内容）	①教育課程上の教育活動における学習支援、学習指導補助等 ②始業前の自主学習、放課後の自主学習等における学習指導補助等 ③特別な支援を必要とする児童･生徒への介助及び支援等 ④不登校傾向等生徒指導上の配慮を必要とする児童･生徒への相談活動、別室指導補助等			
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果		二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A	有効性 A　効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,264（1,264）	R2年度（当初）予算額 1,445（1,445）	R3年度実施の方向性	実施

8	事務事業名	スクールソーシャルワーカー配置事業	事務事業コード	421-05-08
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A	順調である	継続・新規	新規
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課	R3 学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校　児童・生徒、保護者及び教職員			
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカーによる児童生徒の置かれた様々な環境への働き掛けによる支援を行う。			
事務事業の概要 手段（事業内容）	①校内チーム体制の構築②子どもや学級の状況アセスメントについてSSWからの専門的な助言③福祉部局等関係諸機関との連携とケース会議等の活性化			
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果		二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性	有効性　効率性
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性	実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	子どもの貧困対策		基本事業の概要	対象（誰を・何を）	経済的理由等、困難を有する児童・生徒
基本事業コード	421-06			目的（どうしたいのか）	教育を受ける機会の均等を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画					

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点 現状値（総計）	R1年度 実績	R2年度 目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	就学援助等事務事業			事務事業コード	421-06-01					
	総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A	順調である	継続・新規	継続	法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当	R2	学校教育課	R3 学校教育課
	事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市が設置する小中学校に在学する児童・生徒をもつ保護者				R2年度 事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果			二次評価対象事業	
	目的（どうしたいのか）	経済的理由によって就学が困難となっている児童・生徒が、義務教育を円滑に受けられるようにするため。				総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
	手段（事業内容）	学用品費など必要な費用の一部を援助する。							A	A	A

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	88,740	109,067	実施
	（ 84,905 ）	（ 103,671 ）	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	教育体制の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校の教職員
基本事業コード	421-07		目的（どうしたいのか）	指導力・資質の向上を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	1	「生きる力」を育む教育の推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	教職員研修事務事業	事務事業コード	421-07-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学校職員の資質を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	大学の先生をはじめ、その道の専門の先生方を招へいして研修を実施する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 4,014（4,014）	R2年度（当初）予算額 4,502（4,502）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	教育指導専門員事業	事務事業コード	421-07-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小・中学校及び義務教育学校の教員（新任教員・講師）		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	教職員の日々の授業の質を高め、指導力を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	教育指導専門員を配置し、法定の初任者研修における研究授業にかかる指導等の指導助言を補助的に実施するもの。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,760（5,760）	R2年度（当初）予算額 6,536（6,536）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	教育活動研究等推進事業	事務事業コード	421-07-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小中学校及び義務教育学校　児童・生徒・教職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	教職員等で構成する各教科・領域の研究団体に対して、研究等の教育活動を充実させ、その効果を学校教育に活かす。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	各学校関係団体や学校に負担金や助成金を支給し、支援する。 学校関係団体：小学校教育研究会、中学校教育研究会等		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,904（5,017）	R2年度（当初）予算額 6,155（5,345）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	教職員の英語サポート事業	事務事業コード	421-07-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市立小学校及び義務教育学校前期課程　教職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	小学校及び義務教育学校前期課程教職員の英語授業の工夫・改善をサポートすることで、授業の質を高め、指導力を向上させることにより、子ども・地域にとってよりよい学校にする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	英語教育指導専門員を派遣し、教職員に対して指導助言等を行う。また、各学校において英語研修を実施する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 3,525（3,525）	R2年度（当初）予算額 6,688（6,688）	R3年度実施の方向性 －

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	教育環境の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	学校施設
基本事業コード	422-01		目的（どうしたいのか）	安全・安心な学校生活に必要な設備環境の確保と改善を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	学校施設管理事務事業	事務事業コード	422-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、教職員および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市立小中学校及び義務教育学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	学校運営において経常的に必要となる光熱水費、消耗品費、施設修繕費および保守点検委託費の支出		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 207,961（207,961）	R2年度（当初）予算額 193,344（193,344）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	学校施設改修事業	事務事業コード	422-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、教職員および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市立小中学校及び義務教育学校施設の使用について安全な教育環境を提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	安全な教育環境を提供するために計画的な学校施設及び設備の改修工事を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 17,040（9,677）	R2年度（当初）予算額 59,815（21,115）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	非構造部材耐震化事業	事務事業コード	422-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、教職員および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	地震災害時における児童、教職員の安全を確保するとともに、地域住民の避難場所としての安全性を担保する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	①屋内運動場の吊り天井材の撤去工事②バスケットゴール、照明器具、校歌額縁等の落下防止のための補強工事③窓ガラスの飛散対策として飛散防止フィルムの貼付		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 85,184（5,561）	R2年度（当初）予算額 357,890（5,290）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	普通教室エアコン設置事業	事務事業コード	422-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、教職員および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	近年における夏季の猛暑による熱中症対策および教育環境の質的な向上を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市立小中学校及び義務教育学校の普通教室、支援学級教室にエアコンを設置する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 492,754（3,621）	R2年度（当初）予算額 0（0）	R3年度実施の方向性

5

事務事業名	茶山グラウンド整備事業	事務事業コード	422-01-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	応神天皇陵古墳に隣接した茶山グラウンドについて、誉田中学校テニスコート整備、災害時の一時避難地としての機能強化、世界文化遺産登録に向けた景観の形成ならびに市民や来場者の憩いの場としての充実を図るための整備を行う。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	全面人工芝のテニスコート5面と憩いの広場整備、かまどベンチ、防災用照明灯の設置などを平成27年度から平成28年度の2カ年事業で実施する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性 / 有効性 / 効率性
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性

6

事務事業名	学校プール施設あり方検討事務事業	事務事業コード	422-01-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	プール施設等整備推進プロジェクトチーム
R3	プール施設等整備推進プロジェクトチーム		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立学校プール		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学校プールのあり方基本方針を策定する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	羽曳野市公共施設等総合管理計画を踏まえ、羽曳野市立学校プールのあり方を検討する。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 1,518（1,518）	R2年度（当初）予算額 375（375）	R3年度実施の方向性

7

事務事業名	長寿命化改修事業	事務事業コード	422-01-07
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	D 遅れている	継続・新規	新規
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童、生徒、教職員および地域住民		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	市立小中学校及び義務教育学校施設の老朽化等の現状を把握し、学校施設マネジメントプラン（長寿命化計画）を総合的かつ計画的に推進するため、進捗管理を行い、安全な教育環境を提供する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	学校施設マネジメントプラン（長寿命化計画）に基づき、老朽化した学校施設の大規模改造及び長寿命化改修を行う。		
R2年度事務事業評価	（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性		各視点からの評価	妥当性 / 有効性 / 効率性
総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	学校給食の充実	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	422-02		目的（どうしたいのか）	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	中学校給食提供事業	事務事業コード	422-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	食育･給食課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立中学校及び義務教育学校後期課程の生徒		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	適切な栄養の摂取による心身の発達、健康の保持増進のために、お弁当を持参できない生徒に栄養バランスを考えた食事を提供する。生徒に「食」の正しい知識を習得させ、適切な判断能力を養う。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	保護者（生徒）がパソコン･携帯電話を活用し、予約システムより給食の利用を希望する日を選んで申込みする「選択制」の給食を実施。デリバリー方式･外部民間調理場活用の方式とする。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 30,881（30,881）	R2年度（当初）予算額 32,152（32,152）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	小学校給食提供事業	事務事業コード	422-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校給食センター
R3	学校給食センター		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小学校及び義務教育学校前期課程の児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童の心身の健全な発達と、食に関する正しい理解と適切な判断力を養成する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	日々の小学校及び義務教育学校前期課程の給食の提供において、市教育委員会や羽曳野市学校給食会での献立作成、物資購入、食物アレルギー対策に関する協議に基づき、安全で充実した給食の実施を図る。また、各学校での栄養教諭を中心とした児童や保護者への食育指導に取組む。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 231,525（231,525）	R2年度（当初）予算額 262,516（262,516）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	給食センター等施設管理事務事業	事務事業コード	422-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校給食センター
R3	学校給食センター		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	第1学校給食センター、第2学校給食センター、各学校給食室設置備品		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	日々の小学校及び義務教育学校前期課程児童への給食の提供を円滑に実施するため、必要となる施設及び調理設備を維持管理する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	施設や設備の定期的な点検や老朽箇所の補修と故障修理、及び、施設運営に必要な供給処理施設を維持管理する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	改善して継続	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 C / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 53,990（53,990）	R2年度（当初）予算額 59,098（59,098）	R3年度実施の方向性 実施

4

事務事業名	給食センター整備事業	事務事業コード	422-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	D 遅れている	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	食育･給食課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	第1学校給食センター、第2学校給食センター、各学校給食室設置備品		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	老朽化した給食センターの施設･設備を改善する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	新築移転に向けて、事業手法の検討も含めた基本計画を策定する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	拡充・重点化	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 70,983（22,083）	R2年度（当初）予算額 6,817（6,817）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	安全安心な学校環境の整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童及び生徒
基本事業コード	422-03		目的（どうしたいのか）	登下校時及び校内での安全を確保する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	学校安全対策事業	事務事業コード	422-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	教育総務課
R3	教育総務課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	校内の学生生活及び登下校時における不審者等からの安全確保を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	正門付近に安全管理員を配置し、門扉の施錠、不審者等発見時の通報、来校者確認の受付業務等を行う。また、新入学児童全員に防犯ブザーを無償貸与する。		

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	7,616	8,758	実施
	（ 7,616 ）	（ 8,758 ）	

2

事務事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	事務事業コード	422-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	学校教育課
R3	学校教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小学校及び義務教育学校前期課程在学児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全確保を図るため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図りながら、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード･リーダーとして委嘱し、各学校を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価や、スクールガードに対する指導等を行う。		

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	635	637	実施
	（ 276 ）	（ 277 ）	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	教育コミュニティづくり	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	地域住民及び保護者
基本事業コード	422-04		目的（どうしたいのか）	地域全体で学校教育を支援する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	2	学校教育						
施策の方向	2	安心して学べる教育環境づくりの推進						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1	事務事業名	私たちのまちの学校園育み事業	事務事業コード	422-04-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続	法定・自治 自治事務（任意のもの） 担当 R2 学校教育課 R3 学校教育課
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立幼稚園、小・中学校及び義務教育学校			R2年度事務事業評価 （ R1年度実施事業 ） 最終結果 二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	地域住民及び保護者が教育活動の振興を支援し、学校園と地域住民及び保護者が協働関係をもって園児・児童・生徒を育む。			総合評価・今後の方向性 現状維持 各視点からの評価 妥当性 A 有効性 A 効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	①地域の人材を生かした教育活動の充実 ②教育講演会の開催 ③リーフレットの作成、配布 ④地域清掃活動等			総事業費（うち市負担額） R1年度決算額 2,905 R2年度（当初）予算額 2,925 単位：千円 （ 2,905 ） （ 2,925 ） R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	野外活動機会の提供	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	青少年
基本事業コード	431-01		目的（どうしたいのか）	体験活動の充実を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	3	子ども･若者育成支援						
施策の方向	1	健やかな成長支援						
まちづくりの戦略		(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	ふれあい広場関連事務事業	事務事業コード	431-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	青少年		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	駒ヶ谷の豊かな自然を享受できる環境で、野外活動を行える場所を提供することで青少年の体験活動の充実を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	グレープヒルスポーツ公園野外活動広場（ふれあい広場）の運営及び親子ふれあいサマーイベントの開催。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 844（844）	R2年度（当初）予算額 624（624）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	山添村野外活動施設事務事業	事務事業コード	431-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	青少年団体及び青少年育成団体		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	奈良県山添村の豊かな自然を享受できる環境で、野外活動を行える場所を提供することで青少年の体験活動の充実を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	奈良県山添村に所在する「山添村生涯学習施設東豊館」を5月から10月の6カ月間借り上げ、野外活動施設として提供。羽曳野市民が優先利用できる。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	縮小・統合	各視点からの評価	妥当性 C / 有効性 C / 効率性 B
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 0（0）	R2年度（当初）予算額 891（891）	R3年度実施の方向性 －

3

事務事業名	ふれあい広場大型遊具更新事業	事務事業コード	431-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	ふれあい広場を訪れる市民全般(特に、幼児･児童)		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	ふれあい広場に大型遊具を設置することにより、駒ヶ谷の豊かな自然を享受しながら、キャンプ時や普段憩いを求める市民に楽しんでもらえるよう、グレープヒルスポーツ公園ふれあい広場の充実を図っていく。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	経年劣化により安全性に問題があった遊具を平成29年度撤去し、30年度に新規設置を進めた。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	完了	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 0（）	R2年度（当初）予算額 0（）	R3年度実施の方向性

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼　基本事業シート】

基本事業名	健やかな成長を支える環境整備	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童・青少年等
基本事業コード	431-02		目的（どうしたいのか）	各施設において、地域の子育て・自主活動・健全育成等に対する支援を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	3	子ども･若者育成支援						
施策の方向	1	健やかな成長支援						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	青少年児童センター運営事務事業	事務事業コード	431-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 R2 青少年児童センター　R3 青少年児童センター
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	幼児から成人の方まで幅広い年代を対象。	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	青少年の放課後や土曜日、夏休み期間等の安心・安全な居場所づくりの実施。 ＊　小学生を中心に各種教室を実施し様々な知識・技術等を習得、体験し生涯学習への関心を高める。 ＊　体育館・運動広場・教室等の施設を貸しだすことにより自主活動の場を提供する。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	日～土(年末・年始除く)の午前9時から午後9時30分まで開館。 ＊土曜日教室（文化、サッカー、おもしろ）・子育て支援(親子、小学生体操教室)・中学生学力向上教室・夏休みを中心としたこども教室の実施。館内の教室、体育館、運動広場等の施設貸出（無料）	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 19,716（19,516）　R2年度（当初）予算額 20,978（20,698）　R3年度実施の方向性：実施

2

事務事業名	青少年児童センター施設管理事務事業	事務事業コード	431-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 R2 青少年児童センター　R3 青少年児童センター
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	青少年児童センターを利用される市内外の方々を対象とする。	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	「青少年児童センター運営事務事業」の遂行を補完するため、適切な施設・設備の維持管理を行い、利用者が安全に、安心して当施設を利用できるようにする。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 B　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	来館者が青少年児童センターを安全で安心して利用できるよう、施設の維持管理に努め、可能な限り、補修・修繕については職員で行っている。 ＊必要に応じて、消防設備等の保守管理等に専門性の必要な業務や、施設警備・清掃業務等、委託により効率化が見込める業務等、適宜業者に委託している。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 25,099（25,099）　R2年度（当初）予算額 30,289（30,289）　R3年度実施の方向性：実施

3

事務事業名	白鳥児童館運営事務事業	事務事業コード	431-02-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 R2 白鳥児童館　R3 白鳥児童館
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	乳幼児から小学校に在学する児童、保護者	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	子どもに健全な遊びを与えるとともに、地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 A　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	子育て親子の交流の場の提供、交流の促進、子育て相談等の子育て支援事業。主に小学生を対象にした遊びの場の提供、遊びの指導、工作や体験型教室の開催。地域との連携・交流を深めるイベントの実施。留守家庭児童会白鳥教室の施設提供。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 7,740（5,856）　R2年度（当初）予算額 8,573（6,647）　R3年度実施の方向性：実施

4

事務事業名	白鳥児童館施設管理事務事業	事務事業コード	431-02-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B　概ね順調である　継続・新規　継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）　担当 R2 白鳥児童館　R3 白鳥児童館
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	白鳥児童館	R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果	二次評価対象事業
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	利用者が安全に、快適に施設を利用できる。	総合評価・今後の方向性：現状維持	各視点からの評価：妥当性 A　有効性 A　効率性 A
事務事業の概要 手段（事業内容）	施設及び設備の保守・点検、及び清掃、植栽等の環境整備。	総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額 2,935（2,935）　R2年度（当初）予算額 3,262（3,262）　R3年度実施の方向性：実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	地域社会への参加促進	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童・青少年等
基本事業コード	431-03		目的（どうしたいのか）	地域における交流の促進を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども･若者を育むまち						
施策	3	子ども･若者育成支援						
施策の方向	1	健やかな成長支援						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		(2)だれもが安心･安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	夏休みラジオ体操事業	事務事業コード	431-03-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	子ども、地域（自治会等）		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	夏休みは不規則な生活になりがちなため、地域ぐるみで朝のラジオ体操を実施することで規則正しい生活の確立と、世代間交流、地域コミュニティの活性化をめざす。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	地域（自治会等）やこども会に、参加カードと参加賞（えんぴつ3本）を配布することでラジオ体操の促進をうながしている。		

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	871	771	実施
	（ 871 ）	（ 771 ）	

2

事務事業名	親子ふれ愛（ふろ愛）事業	事務事業コード	431-03-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）		継続・新規	終了
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3			
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	羽曳野市内の小学生及び義務教育学校前期過程以下の子ども		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	少子化、核家族化が急速に進み、地域社会とのつながりが希薄となるなか、保護者や地域の人たちと子どもの入浴を通じたふれあいを図り、青少年の健全育成と健康の増進をめざす。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	実施日（1月と8月を除く月の全土曜日）に小学生以下の児童・幼児が保護者等と同伴で入浴すれば保護者一人に対し児童（または幼児）が一人無料になる。		

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果

総合評価・今後の方向性	縮小・統合	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			C	B	C

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	889	0	
	（ 889 ）	（ 0 ）	

3

事務事業名	成人式開催事業	事務事業コード	431-03-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	新成人		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	成人の日を迎えるにあたり、新成人としての前途を祝福し励ますとともに、成人としての自覚をうながす。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	成人の日に成人式を開催し、祝福の言葉と記念品を贈呈する。		

R2年度事務事業評価（ R1年度実施事業 ） 最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

二次評価対象事業

総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	6,257	6,845	実施
	（ 6,257 ）	（ 6,845 ）	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	多様な学習・体験機会の提供	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童・青少年等
基本事業コード	431-04		目的（どうしたいのか）	課外における多様な活動の体験を通じて、健全な成長を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	1	健やかな成長支援						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	はびきの中学生study-O事業	事務事業コード	431-04-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	特命プロジェクトチーム
R3	特命事業推進室		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内在住または在学の中学生		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学力向上とともに居場所づくりを図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	学校外の自学自習の場を提供し、市職員およびボランティアスタッフのサポートにより、自学自習する力を伸ばす。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	B

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	3,984	4,518	実施
	（ 1,229 ）	（ 756 ）	

二次評価対象事業

2

事務事業名	小・中学生スポーツクラブ活動事業	事務事業コード	431-04-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	特命プロジェクトチーム
R3	特命事業推進室		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内在住または在学の小学生および中学生		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童・生徒の居場所づくり、健康づくりを促進する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市職員が指導員となり、女子サッカーと男女硬式テニスをそれぞれ指導する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	B	B

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	2,967	2,637	実施
	（ 2,967 ）	（ 2,637 ）	

二次評価対象事業

3

事務事業名	はびきの夏スタ！事業	事務事業コード	431-04-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	特命プロジェクトチーム
R3	特命事業推進室		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市立小学校および義務教育学校の4年生から6年生まで		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学習習慣の定着とともに夏休み中の児童の居場所づくりを図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	8月中に各小学校2日間の日程で開催。児童が夏休みの宿題等を持参して自習する中で、分からないところや苦手部分について、市職員やサポートスタッフが助言、指導を行う。学習タイムとゲームや工作等の児童全員で楽しめるレクリエーションや外国人による英会話講座などを行うお楽しみタイムを実施する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			B	A	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	2,793	2,138	完了見込
	（ 2,473 ）	（ 1,720 ）	

二次評価対象事業

4

事務事業名	各種教室等開催（青少年センター）事業	事務事業コード	431-04-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	青少年		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学校教育だけでは学ぶことが難しい伝統文化や実技を学び、体験できる場を提供し、伝統文化や実技への関心や興味、学ぶ楽しさを育む。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	定期教室（子どもアート、将棋、書道、水彩画）、体験教室（お琴）、夏休み・春休み短期教室の開催。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	6,680	8,087	実施
	（ 6,476 ）	（ 7,883 ）	

二次評価対象事業

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	困難を有する子ども・若者の支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	支援の必要な子ども・若者及び保護者等
基本事業コード	432-01		目的（どうしたいのか）	居場所づくりとともに、抱えている問題の克服・解決を図る。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28.4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	2	困難を有する子ども・若者の支援						
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
		（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	発達に障害のある児童の居場所づくり事業	事務事業コード	432-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	支援が必要な児童及びその保護者、羽曳野市留守家庭児童会職員		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	支援が必要な児童やその保護者が、悩みを抱えてしまうことで孤立や虐待につながらないよう支援を行う。留守家庭児童会職員が、支援の必要な児童への関わり方を学ぶことができるようにする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	相談窓口の開設。児童センター研徳田のホール開放による居場所づくり。留守家庭児童会職員向けの研修会の実施。保護者が社会性を育む子育ての仕方を学ぶ研修会、講演会。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 5,228（228）	R2年度（当初）予算額 5,225（225）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	児童養護施設退所児童進学応援奨学金事務事業	事務事業コード	432-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	児童養護施設退所児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	児童養護施設退所児童の進学に係る奨学金を支給することにより、修学意欲の向上を図り、社会的自立を支援する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市内の各児童養護施設から各年度ごとに各1名を選考して、大学等の修業年限を限度として返済義務のない奨学金月額5万円を支給する。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 2,179（379）	R2年度（当初）予算額 2,175（375）	R3年度実施の方向性 実施

3

事務事業名	子どもの居場所づくり事業	事務事業コード	432-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	こども課
R3	家庭支援課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	生活に困窮している家庭の子ども等		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	生活に困窮している家庭の子ども等の基本的な生活習慣づけを支援する。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	学習支援をはじめ、相談事業等をすすめ、子どもが安心して過ごせる居場所を地域と連携しながら確保し支援することを目的とする団体に対して、その運営に係る経費等の補助を行う。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	縮小・統合	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 B / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 1,759（379）	R2年度（当初）予算額 1,985（375）	R3年度実施の方向性 実施

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	学校・家庭・地域が連携した育成支援	基本事業の概要	対象（誰を・何を）	子ども・若者及び保護者
基本事業コード	433-01		目的（どうしたいのか）	社会全体で健全な育成を支援する。
第６次羽曳野市総合基本計画				

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備						
まちづくりの戦略	○	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり		学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数（延べ）	人	43,919	30,791	48,000
		(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1 青少年健全育成関連団体支援事業

事務事業名	青少年健全育成関連団体支援事業	事務事業コード	433-01-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	青少年の健全育成に取組む関係団体		
目的（どうしたいのか）	市内の関係団体との協働により、家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるようにする。		
手段（事業内容）	市青少年健全育成推進協議会、市青少年指導員連絡協議会、市こども会育成連絡協議会、市青少年リーダー会、市PTA連絡協議会の各団体への助成金の交付、その他日常活動への支援を行う。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	A	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	15,780	16,259	実施
	（15,780）	（16,259）	

2 放課後子ども教室事業

事務事業名	放課後子ども教室事業	事務事業コード	433-01-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	小学生、地域住民		
目的（どうしたいのか）	放課後や週末等に学校の施設を利用して、子どもたちの安全で安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、子どもたちの社会性・自主性・創造性を育む。また学校を書くとして地域コミュニティの活性化をめざす。		
手段（事業内容）	市内14小学校及び義務教育学校区で地域住民を中心として実行委員会を組織し（構成団体：育成協、福祉委員会、婦人会、老人会、厚生保護女性会、PTA等）、子どもたちにスポーツ、文化活動、様々な遊び、地域ボランティアとの交流、学習活動等の多様な活動を体験する機会を提供する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	17,877	11,535	実施
	（16,877）	（10,578）	

3 学校支援地域本部事業

事務事業名	学校支援地域本部事業	事務事業コード	433-01-03
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	子ども（主に公立小・中学校及び義務教育学校に通う児童生徒）、小・中学校及び義務教育学校、地域住民		
目的（どうしたいのか）	地域と学校が連携協働して、校区内の小中学校及び義務教育学校の学校運営や教育活動への地域住民による支援活動の促進と調整を行う。		
手段（事業内容）	各校区に地域コーディネーターを配置し、学校の教育活動に対する組織的なボランティア支援を行える環境作りをすすめるとともに、各学校での学習支援、環境整備、部活動指導、登下校の見守り等の取り組みをすすめる。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	3,440	3,050	実施
	（2,698）	（2,308）	

4 家庭教育支援事業

事務事業名	家庭教育支援事業	事務事業コード	433-01-04
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	幼児・児童の子をもつ親		
目的（どうしたいのか）	子育てに関する学習機会・情報の提供をとおして、保護者が身近な地域で家庭教育に関する学習や相談ができるようにすることで、家庭教育力の向上を図るとともに、地域や親同士の関係づくりをすすめる。		
手段（事業内容）	地域の親学習リーダー（大阪府の養成講座や類似講座の修了者）により、「親学習」講座を開催し、グループワークの中での対話や交流をとおして、子育ての大切さや親としての自覚や責任について考えてもらう。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	3,191	2,142	実施
	（3,089）	（1,984）	

5 青少年健全育成啓発等事業

事務事業名	青少年健全育成啓発等事業	事務事業コード	433-01-05
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市民、青少年健全育成に取り組む関係団体の構成員		
目的（どうしたいのか）	家庭・学校・地域が連携して青少年をとりまく環境の整備を行い、地域社会全体で青少年の健全育成に取り組めるよう、市内関係団体の協働関係の強化と啓発をすすめる。		
手段（事業内容）	7月の「青少年非行防止月間」及び11月の「子ども若者支援強調月間」において関係団体と協働して啓発活動を取り組むとともに、青少年健全育成大会・研修会を開催する。		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	1,900	2,779	実施
	（1,900）	（2,779）	

6 子どもの安全確保事業

事務事業名	子どもの安全確保事業	事務事業コード	433-01-06
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である　継続・新規：継続	法定・自治	自治事務（任意のもの）
担当	R2 社会教育課	R3 社会教育課	
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	子ども、子どもの安全見守りに参加する地域住民等		
目的（どうしたいのか）	地域住民等による自発的な協力により、地域ぐるみで子どもの安全を見守る環境をつくり、登下校時における子どもの安全確保と地域の犯罪防止及び犯罪抑止につなげていく。		
手段（事業内容）	児童の安全見守り活動参加者の傷害保険事務等の活動支援。各種団体（校区育成協、PTA、町会等）の協力により「みまもってるよ。こども110番」プレートを配布。（建物や自転車等に掲示し子どもの安全な環境づくりへの協力意思を示してもらう）		

R2年度事務事業評価（R1年度実施事業）最終結果　二次評価対象事業

総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性	有効性	効率性
			A	B	A

総事業費（うち市負担額）単位：千円	R1年度決算額	R2年度（当初）予算額	R3年度実施の方向性
	911	1,047	実施
	（911）	（1,047）	

◎ 令和 3 年度実施計画シート【兼 基本事業シート】

基本事業名	放課後・課外環境の充実		基本事業の概要	対象（誰を・何を）	児童
基本事業コード	433-02			目的（どうしたいのか）	放課後・課外における、安全で快適な居場所づくりを図る。
第６次羽曳野市総合基本計画					

			総合基本計画目標指標	指標名	単位	H28. 4時点現状値（総計）	R1年度実績	R2年度目標（総計）
施策目標	4	未来に羽ばたく子ども・若者を育むまち						
施策	3	子ども・若者育成支援						
施策の方向	3	社会全体で支えるための環境整備		留守家庭児童会の待機児童数	人	0	0	0
まちづくりの戦略		（1）羽曳野の資源を活かしたまちづくり						
	○	（2）だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり						
	○	（3）人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり						

1

事務事業名	放課後児童健全育成事業	事務事業コード	433-02-01
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	B 概ね順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（義務的なもの）	担当 R2	社会教育課
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	就労等により保護者が昼間家庭にいない児童及び保護者		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	就労や疾病等により保護者が放課後家庭にいない、小学校または義務教育学校前期課程の児童を対象として、児童の安全を守り、遊びや異年齢との集団生活を通して、健康で自主性や社会性を備えた豊かな人間性を育て、児童の健全育成をすることを目的とする。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	市内12小学校、1義務教育学校及び1児童館に留守家庭児童会（学童教室）を開設。開会時間は、平日は放課後から午後5時まで、学校休業日（夏休み等）は、午前8時30分から午後5時まで、延長利用（平成26年5月1日より開始）は、午後5時から午後6時30分まで実施。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 A / 有効性 A / 効率性 A
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 203,025（44,392）	R2年度（当初）予算額 253,235（65,525）	R3年度実施の方向性 実施

2

事務事業名	留守家庭児童会学習支援事業	事務事業コード	433-02-02
総計に基づく事業の進捗状況（R2年度）	A 順調である	継続・新規	継続
法定・自治	自治事務（任意のもの）	担当 R2	特命プロジェクトチーム
R3	社会教育課		
事務事業の概要 対象（誰を・何を）	市内13小学校及び1義務教育学校の留守家庭児童会入会児童		
事務事業の概要 目的（どうしたいのか）	学習習慣の定着を図る。		
事務事業の概要 手段（事業内容）	週に1回程度、各留守家庭児童会の教室にて、市職員が児童の宿題のチェックや質問への対応等、学習支援を行う。		
R2年度事務事業評価	（ R1年度実施事業 ） 最終結果	二次評価対象事業	
総合評価・今後の方向性	現状維持	各視点からの評価	妥当性 B / 有効性 B / 効率性 B
総事業費（うち市負担額） 単位：千円	R1年度決算額 9,130（9,130）	R2年度（当初）予算額 6,725（6,725）	R3年度実施の方向性 実施